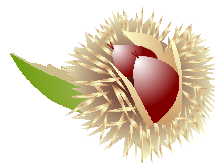




知心健



～ 自らの生活を開拓し 創造する生きがいを求めて ～

文責 教頭

<http://www.shunkoudai.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp/>

令和元年度「全国学力・学習状況調査」の分析！

4月18日（木）に3年生で実施いたしました「全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省より送付されてきました。本校の生徒の成果と課題について分析いたしましたので、特徴的な事項についてお知らせいたしますとともに、課題を踏まえ取り組んでいる各教科の主な改善策についてもお知らせいたします。今後も、学校全体としてさらなる学力向上に向けた取り組みを推進してまいります。ご家庭でのご理解とご協力もよろしくお願いいたします。

国語科

○成果となつてあらわれたもの

- ・全体的に無回答が少なく、答えを書こうとする姿勢が見られること。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の正答率が高く、日常の授業や学校生活での実践が結びついていると考えられる。

●課題と考えられるもの

- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域における正答率がやや低い。
- ・文章を書いたり読み返したりする際に、語句の使い方に気をつける意識が低い。

★改善策

- ・書いた文章を互いに読み合い、良い点や改善点などを交流する活動を多く取り入れていく必要がある。
- ・単元の終末における確認問題や意図的に復習の時間を設けるなどして、基礎的・基本的な知識の定着を図る必要がある。

英語科

○成果となつてあらわれたもの

- ・「聞くこと」について、クラスルームイングリッシュやALTの活用等で、英語に慣れ親しんでいること、教科書本文の音読などで発音などが正確に理解できている。
- ・「読むこと」について、教科書本文の読解が一定の成果となつて現れている。

●課題と考えられるもの

- ・「書くこと」では、与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことにおいて課題が見られた。また、特に一般動詞の三人称単数現在時制についての理解に課題が見られた。
- ・「話すこと」では、文法を間違えずに正確に答えることに課題が見られた。

★改善策

- ・自身の立場で答えたり、質問する機会をより多く設定し、「話すこと」「書くこと」について、「英語を使用する」場面をもっと増やしていく必要がある。
- ・既習事項の定着が十分ではないため、定期的に復習をして定着を図る必要がある。

数学科

○成果となってあらわれたもの

- ・すべての分野において、基本的な学習内容を理解している結果を得られた。
- ・特に資料の活用分野では、実際に実験をしたり、資料を集めたりしながら、確率や資料の整理の学習をおこなったのが成果につながった。
- ・eライブラリ等を活用した学習プリントの工夫や家庭学習への働きかけをしながら、繰り返し計算練習等ができるような環境づくりを行った。

●課題と考えられるもの

- ・すべての分野において、学習したことを使って問題を解いたり、その考え方を説明したりすることに課題が見られた。
- ・特に関数の分野では、日常的な事象を関数を利用して数学的に考え、解決することにおいて課題が見られた。

★改善策

- ・生徒同士が方法話し合いながら、日常の事象を数学的に表現・処理をして、問題を解決するような授業を関数の分野以外でももっと取り入れていく必要がある。
- ・既習事項の定着が十分ではないため、定期的に復習をして定着を図る必要がある。

生徒質問紙

○成果となってあらわれたもの

- ・家庭学習の定着～学校以外で学習している生徒が多く、学習する機会が増えている。
- ・読書が好き・どちらかといえば好きが70%を超え、興味・関心をもつようになった。
- ・授業では、課題解決に向けて生徒自ら取り組む姿勢が多く見られた。

●課題と考えられるもの

- ・家庭学習において計画的に行うことが苦手と感じている生徒が多い。
- ・自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表することを苦手と感じている生徒が多い。
- ・1日あたりの学習時間が短い傾向にある。

★改善策

- ・各教科の授業で、自分の考えを伝えたり、相手の考えを理解できる場面を設定するなど言語活動の充実を図る。
- ・放課後に行われる、CSやASを積極的に利用できるように声かけを行う。

eライブラリアドバンス 家庭学習サービスについて

年度初めに、全校生徒に右にある個人IDカードを配布しています。インターネットに接続したパソコン、スマホ、タブレットPCがあれば、いつでもどこでも無料でドリル学習ができます。家庭学習教材の一つとしてご活用していただければと思います。



アドレス

学校コード
(家庭学習用)

ログインID

パスワード

学 年

名 前

*パスワードは他の人に
教えないようにしましょう。

検索エンジンで「eライブラリアドバンス」と入力するか

<https://katei.kodomo.ne.jp>

をアドレスバーに直接入力すると、eライブラリのログインページへいけます。

IDカードに記載されている「学校コード」「ID」「パスワード」を入力します。マイページから、ドリル学習や調べ学習ができます。